第 72 回年次大会　研究発表・ポスター・製品展示の募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来，「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り，かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました．

お蔭さまで，年次大会も第 72 回目を迎えます．本学会の年次大会の特色は，繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること，製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります．今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう，幅広い分野からの発表を募集します．

年次大会は年に一度，全国の会員が一堂に会して，研究発表会，特別講演会，懇親会に参加し，学術的・技術的交流を深め，情報交換，意見交換をする最も良い機会と考え，皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います．また，35 歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」，「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます．ベテランの研究者から，経験の少ない若手の方々まで，多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしています．

期　日　**2019 年 5 月 30 日（木），31 日（金）**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，北へ徒歩 3 分）

発表募集内容

〔　　〕内はオーガナイザー

1. 研究発表セッション

(a) **テキスタイル・アパレルの科学と工学**

〔金井博幸（信州大学），井上真理（神戸大学），鞠谷雄士（東京工業大学），近藤幹也（東京都立産業技術研究センター），朱春紅（信州大学），徳山孝子（神戸松蔭女子学院大学），堀場洋輔（信州大学），森下美樹子（カケンテストセンター）〕

キーワード：繊維工学（繊維製品に関わる技術，性能試験），繊維製品と感覚計測（風合い，快適性，感性評価），ウェアの高機能化（安全，安心，健康），被服心理とファッション（からだ，デザイン，マーケティング）

(b) **繊維機械の科学と工学**

〔喜成年泰（金沢大学），稲垣録哉（豊田自動織機），太田成利（村田機械），橋本欣三（TMT マシナリー），伴場秀樹（津田駒工業），保田和則（愛媛大学）〕

キーワード：繊維機械の基礎研究，流れの科学，繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術，紡績技術，化合繊機械，織機，編機，準備機械，織編組技術，各種繊維関連機器

(c) **ナノファイバー**

〔山下義裕（大阪成蹊短期大学），石井佑弥（京都工芸繊維大学），小野　努（岡山大学），金 翼 水（信州大学），中根幸治（福井大学），向井康人（名古屋大学）〕

キーワード：フィルター，ナノテクノロジー，エレクトロスピニング，メルトブローン，生体材料

(d) **スマートテキスタイル**

〔堀　照夫（福井大学），黒田知宏（京都大学），桑原教彰（京都工芸繊維大学），才脇直樹（奈良女子大学），柴田和明（シバタテクノテキス），髙橋秀也（大阪市立大学）〕

キーワード：導伝繊維，スマート材料，環境，実装，情報

(e) **環境対応技術**

〔豊田　宏（太陽工業），内丸もと子（M.U.PLANNIG），小田涼太（三晶）〕

キーワード：リデュース，リユース，リサイクル，省エネ，エコロジー，LCA，生分解性，未利用資源，バイオマス，環境負荷低減，節電，軽量

(f) **繊維強化複合材料**

〔中西康雅（三重大学），植松英之（福井大学），倉敷哲生（大阪大学），谷口憲彦（アシックス），仲井朝美（岐阜大学）〕

キーワード：FRP，熱可塑性樹脂複合材料，ナノコンポジット，有機・無機繊維，強化形態，複合効果，傾斜機能，成形加工，接着・接合・界面

(g) **伝統的繊維製品および匠の技**

〔岡本陽子（神戸女子大学），高井由佳（大阪産業大学）〕

キーワード：伝統産業，天然繊維，染織文化財，きもの，組紐，編物，伝統技法，織技法，染技法，衣文化，民族衣装，保存，修理・修復，復元，文様，色彩，デザイン，データベース，文化財

(h) **染色・機能加工**

〔奥林里子（京都工芸繊維大学），上坂貴宏（京都市産業技術研究所），榎本雅穂（京都女子大学），岡田倫子（滋賀県東北部工業技術センター），桑原里実（和洋女子大学），解野誠司（和歌山県工業技術センター），松原孝典（産業技術短期大学），安永秀計（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境／持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

(i) **バーチャルテキスタイル**

〔横山敦士（京都工芸繊維大学），若松栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

(j) **産業用繊維資材および不織布**

〔田上秀一（福井大学），笹山秀樹（福井県工業技術センター），矢井田修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル），医療・衛生用，工業用，土木・建築用，自動車用，生活資材用，インテリア用，寝装用，皮革用，二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

〔藤田浩行（兵庫県立工業技術センター），勝圓　進（倉敷紡績），河原喜久（帝人フロンティア），亀井孝典（島精機製作所），香出健司（ユニチカ），武内俊次（京都工芸繊維大学），二ノ宮有希（東レ）〕繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです．その内容にPR色があっても差し支えありません．この点が，このセッションの大きな特徴です．広い範囲から製品，技術の進展に関連する発表を募集します．口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に，同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）．このセッションは1日目【2019年5月30日（木）】に開催します．

3. ポスターセッション

〔山本貴則（大阪産業技術研究所），勝圓　進（倉敷紡績），廣垣和正（福井大学）〕

ポスターセッションは，発表者と意見交換できる場です．このセッションには，（1）学術研究発表コーナー，（2）製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります．同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます．このセッションは1日目【2019年5月30日（木）】に開催します．

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション，ポスターセッションは該当しません），2019年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます．審査委員により，提出された原稿に基づく第一審査，第一審査を通過された場合，当日の口頭発表での第二審査を行います．学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意下さい．ただし，ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です．

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません），2019年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます．当日【5月30日（木）昼休み】に審査を行います．同じ講演題目による口頭発表は可能です．ただし，同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません．

発表申込方法

以下サイトよりWEB申込みをしてください．

URL：https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切：**2019年2月28日（木）17時まで延長しました．**

原稿提出締切：2019年4月8日（月）17時必着

その他

（1）講演時間について（予定）
一般講演：講演時間 20 分（講演 15 分，質疑応答 4 分，次の演者との交代 1 分）
セッション基調講演：講演時間 40 分（講演 35 分，質疑 4 分，次の演者との交代 1 分）
（2）口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は，重複申し込みしている旨をご記載下さい．
（3）要旨集の配布は，紙媒体（冊子）とダウンロード方式（期間限定）による配布を行います．
（4）講演要旨集の発行日は，2019 年 5 月 23 日（木）．
（5）原稿は，学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き，書式にしたがって A4 判 1 頁または 2 頁にまとめて下さい．書式から大きくはずれた原稿は受付できません．
（6）学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 頁で作成して下さい．
（7）ポスターボードの大きさ
①学術研究発表コーナー：たて 1170 mm，よこ 870 mm.
②製品紹介コーナー：たて 841 mm，よこ 594 mm.
（8）参加登録費：会員・発表者 8,000 円，非会員 13,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円
（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）
（9）発表者は自動的に参加登録されます．あらかじめご了承下さい．

問合先　日本繊維機械学会 第 72 回年次大会実行委員会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

第 72 回年次大会 実行委員会

委 員 長　木村　裕和（信州大学）
副委員長　田上　秀一（福井大学）
山本　貴則（大阪産業技術研究所）
実行委員　石井　佑弥（京都工芸繊維大学）
井上　真理（神戸大学）
植松　英之（福井大学）
榎本　雅穂（京都女子大学）
岡田　倫子（滋賀県東北部工業技術センター）
奥林　里子（京都工芸繊維大学）
小野　　努（岡山大学）
金井　博幸（信州大学）
亀井　孝典（島精機製作所）
鞠谷　雄士（東京工業大学）
倉敷　哲生（大阪大学）
桑原　里実（和洋女子大学）
香出　健司（ユニチカ）
才脇　直樹（奈良女子大学）
柴田　和明（シバタテクノテキス）
高井　由佳（大阪産業大学）
武内　俊次（京都工芸繊維大学）
解野　誠司（和歌山県工業技術センター）
豊田　　宏（太陽工業）
中西　康雅（三重大学）
二ノ宮有希（東レ）
伴場　秀樹（津田駒工業）
藤田　浩行（兵庫県立工業技術センター）
堀場　洋輔（信州大学）
向井　康人（名古屋大学）
矢井田　修（日本不織布協会）
安永　秀計（京都工芸繊維大学）
與倉　弘子（滋賀大学）
若松　栄史（大阪大学）
松岡　敏生（三重県工業研究所）
稲垣　録哉（豊田自動織機）
上坂　貴宏（京都市産業技術研究所）
内丸もと子（M.U.PLANNIG）
太田　成利（村田機械）
岡本　陽子（神戸女子大学）
小田　涼太（三晶）
勝圓　　進（倉敷紡績）
金　翼　水（信州大学）
河原　喜久（帝人フロンティア）
喜成　年泰（金沢大学）
黒田　知宏（京都大学）
桑原　教彰（京都工芸繊維大学）
近藤　幹也（東京都立産業技術研究センター）
笹山　秀樹（福井県工業技術センター）
朱　春　紅（信州大学）
髙橋　秀也（大阪市立大学）
谷口　憲彦（アシックス）
徳山　孝子（神戸松蔭女子学院大学）
仲井　朝美（岐阜大学）
中根　幸治（福井大学）
橋本　欣三（TMTマシナリー）
廣垣　和正（福井大学）
堀　　照夫（福井大学）
松原　孝典（産業技術短期大学）
森下美樹子（カケンテストセンター）
保田　和則（愛媛大学）
山下　義裕（大阪成蹊短期大学）
横山　敦士（京都工芸繊維大学）

年次大会特集号　Short Paper 原稿募集

ジャーナル編集委員会では年次大会特集号の発行を計画しております．本学会では現在，論文誌 Journal of Textile Engineering（JTE）を隔月で刊行しており，Original Paper，Short Paper，Review，Technical Report それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています．特集号では，このうちの Short Paper として掲載できる研究論文を募集します．

Short Paper は Original Paper と同様に未刊行の内容ですが，理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です．将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので，原稿の長さは，原則として刷り上がり 4 頁以内です．

この特集号では，第 72 回年次大会（2019 年 5 月 30 日，31 日開催）において研究発表を行う皆様を対象に，Short Paper への投稿希望の有無を申請いただき，通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで年次大会特集号に論文を掲載するものです．本特集号が，最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております．

本特集号に論文（Short Paper）の掲載を希望される方は，刷り上がり 4 頁程度の投稿原稿を期日までにご提出ください．なお，投稿原稿（Short Paper の原稿）は学会の論文投稿規定に従って作成してください．皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております．

投稿期日：2019 年 5 月 10 日（金）
掲載費用（別刷り料金）：有料
発行予定：第 65 巻，第 4 号（2019 年 8 月発行予定）

お知らせ　日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に，日本繊維機械学会の Facebook ページを 2018 年 7 月に開設しました．
最新情報や開催行事報告等を，お伝えします．
すでにフェイスブックをお使いの方は，ぜひ「いいね！」をお願いします．

ジャーナル編集委員会

委員長　保田　和則（愛媛大学）
副委員長　金井　博幸（信州大学）
向井　康人（名古屋大学）
小柴　孝（奈良工業高等専門学校）
編集委員　井上　真理（神戸大学）
植松　英之（福井大学）
坂口　明男（信州大学）
松岡　敏生（三重県工業研究所）
山下　義裕（大阪成蹊短期大学）
山本　剛宏（大阪電気通信大学）
横山　敦士（京都工芸繊維大学）
上田　博之（大阪信愛女学院短期大学）
金田　直人（福井工業高等専門学校）
廣垣　和正（福井大学）
安永　秀計（京都工芸繊維大学）
山本　貴則（大阪産業技術研究所）
與倉　弘子（滋賀大学）

講演会「オンリーワン技術×マーケティング」

本講演会では繊維および皮革関連において，登場時に「オンリーワン」であった製品および技術を中心にご講演を頂きます．製品および技術の「オンリーワン」ポイントの解説，またその独自技術をどのようにマーケティングに活かしていったのかについてもお話し頂きます．

糸から素材，人工皮革まで幅広い分野のお話が聞けるチャンスです．多数の方々のご参加をお待ち致しております．

期　日　**2019 年 3 月 8 日(金)**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靭本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

内　容

10.00～11.00

（1）ベンベルグの伝統と未来～伝統は守るべからず創るべし

…… 旭化成㈱　繊維事業本部　企画管理部　マーケティング室　室長　近野　哲

・ベンベルグの紹介

・ベンベルグの歩み

・これからのベンベルグ

11.10～12.10

（2）泉工業的ラメ糸のものづくり

…… 泉工業㈱　代表取締役　福永　均

着物や帯の和装品等の加飾糸としてスタートしたラメ糸（金銀糸）現在では洋装分野や繊維資材に使って頂けるようになってきました．親父が創業した泉工業株式会社の二代目として常識や当たり前に抗った，ものづくりのお話です．

13.10～14.10

（3）新感覚合繊素材「Karl Karl-KS®」～開発と展開について～

…… 小松マテーレ㈱　参事　米澤和洋

当社は，2015 年 10 月に新感覚合繊素材「Karl Karl-KS」を発表し，その後，株式会社アイ．エス．テイと共同でマーケティング活動と開発を継続してきました．これまでの取り組みにおいて，物性，機能性，意匠性などの面から多くのリクエストが寄せられ，市場の要望にこたえるため，新たな商品開発に挑んできました．実例を交えながら紹介します．

14.20～15.20

（4）天然皮革調の感性を備えた人工皮革＜クラリーノ＞

…… ㈱クラレ　クラリーノ事業部　次長　芦田哲哉

＜クラリーノ＞は，当社が世界に先駆けて開発した人工皮革で，1965 年の発売以来 50 年以上にわたってご愛顧いただいています．この度，これまで実現が難しかった天然皮革調の高感性な新製品を開発しました．環境にやさしい製法で製造された，天然皮革のような自然な外観・風合いと，人工皮革特有の優れた機能性をあわせ持つ高感性ラインの技術とマーケティングを紹介します．

15.30～16.30

（5）革新精紡機 VORTEX のご紹介と営業戦略について

…… 村田機械㈱　執行役員　繊維機械事業部　営業統括部長　野村貫則

VORTEX は 1997 年に上市した新しい紡績方法です．販売当初は従来の糸と異なることが原因で売れ行きが思わしくありませんでした．ユーザーの意見をフィードバックさせ技術改善を行うとともに，従来の糸と異なる点を市場に PR するという営業戦略により年間売り上げ 200 億円を超える機械となりました．本講演では VORTEX の機械，糸のご紹介から現在に至る開発，営業戦略についてお話します．

協　賛　大阪染色協会

定　員　40 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費　会員 15,000 円，協賛学協会員 15,000 円，非会員 25,000 円，学生会員 1,000 円，学生非会員 2,000 円（税別）

申　込　「講演会スポーツ用補助具の現状と未来」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

申込先　日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

繊維リサイクル技術研究会第132回情報交換会 ～繊維リサイクルの新しい形！～

期　日　**2019年3月1日(金) 14.00～17.00**

会　場　京都工芸繊維大学（京都市左京区松ヶ崎御所海道町）

内　容

14.00～14.10　開会挨拶
……繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授　木村　照夫

14.10～15.10　講演（1）「CMFデザイン～製品の価値はサーフェイスで決まる！」
……㈱FEEL DOOD CREATION　玉井美由紀

15.30～16.30　講演（2）「異業種協働によるデッドストックのアップサイクル」
……㈱アーバンリサーチ　萩原　直樹，喜多　泰之

16.30～17.00　報告事項と閉会挨拶
……繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授　木村　照夫

17.15～19.00　名刺交換会（交流会，有料）

共　催　京都工芸繊維大学・繊維科学センター

問い合わせ先　繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授　木村　照夫
tkimura426@gmail.com

お知らせ

繊維リサイクル技術研究会 共同主催型企画展示「ごみ減量プロジェクト ～廃棄学校制服が大変身！～」

日本繊維機械学会繊維リサイクル技術研究会【委員長：木村照夫（京都工芸繊維大学名誉教授)】が進めています，学校制服リサイクル京都モデル構築事業（京都市ごみ減量推進会議　助成金事業）の活動内容が，2019年1月10日～3月31日の期間，京エコロジーセンター（京都市伏見区深草池ノ内町13）1Fロビーで展示されています．

生徒たちのアイデアに基づき，廃棄制服から生徒たちが希望するグッズを作成しました．

制服から様々なグッズへ変身する過程説明パネルと成果物を展示しています．

https://www.miyako-eco.jp/event/event-8274/

展示期間　**2019年1月10日～3月31日**

展示会場　京エコロジーセンター1Fロビー（京都市伏見区深草池ノ内町13）

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成８年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し，人材の育成に努めてまいりました．それから約 20 年が過ぎ，繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方，繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました．

このような背景を鑑み，「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました．これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ，最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について，より体系的・系統的に学習できる講座です．

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は，繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています．特に，繊維関連業務に就いて間もない方や，基礎的知識について改めて学びなおしたい方，また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています．

そこで，２日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」，「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました．

一方で，繊維関連業務に従事しながら，さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います．そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど，受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました．

企業など各機関の計画的な人材育成，繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために，「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい．

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類		開　講　日	講　座　名
入門		6/12(水),13(木)	1.「2 日で学ぶせんいと布づくり」（2 日）
専門講座	糸	7 月予定	1.「天然繊維の糸づくり」（1 日）
		7 月予定	2.「化学繊維の糸づくり」（1 日）
		12 月予定	3.「合成繊維（実用）」（1 日）
	布	10 月予定	1.「組物」（0.5 日）
		10 月予定	2.「織物」（1 日）
		10 月予定	3.「編物」（1 日）
		9 月予定	4.「不織布」（1 日）
		9・10 月予定	5.「染色加工」（1 日）
		11 月予定	6.「染色加工（実用）」（2 日）
	製品	2 月予定	1.「アパレル製品設計の基本」（1 日）
		11 月予定	2.「繊維製品の感覚性能–アパレル製品を中心として–」（1日）
		11 月予定	3.「実習：感性評価のための布特性」（1日）
		1 月予定	4.「資材用繊維製品」（1 日）
		3/1(金)(2018 年度)	5.「繊維製品の品質管理と品質保証」（1日）

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法，そして製品に影響する紡績・紡糸，編織工程での糸，布の品質欠点に関する講座を開催します．

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから，機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から，製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます．また，消費者に直接届く最終製品のみならず，紡織，織，編の各工程における糸，織物，編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について，村田機械㈱，元 TMT マシナリー㈱の中田様，津田駒工業㈱，尾張繊維技術センターから解説いただきます．技術分野の初心者の方々だけでなく，営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます．多数の方のご参加をお待ちしています．

期　日　**2019 年 3 月 1 日(金)　9.30 ～ 17.50**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

内　容

9.30～10.30
(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明
……（一財）ニッセンケン品質評価センター　大阪事業所　本町支所　支所長　中根　　勲

10.40～11.40
(2) 機能性試験の内容と評価基準
……元 繊維評価技術協議会，日本繊維機械学会フェロー　越智　清一

11.50～12.50
(3) 製品クレームの事象と対策例
……（一財）ボーケン品質評価機構　繊維事業本部　クオリティ事業開発　係長　椎葉竜太郎

13.40～14.40
(4) 紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響　溶融紡糸（長繊維生）産品の品質欠点について
……元帝人，元 TMT マシナリー，中田西日本技術士事務所　代表　中田　賢一

14.50～15.50
(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響
……村田機械㈱　繊維機械事業部，日本繊維機械学会フェロー　松本　龍守

16.00～16.50
(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響
……津田駒工業㈱　繊維機械技術部　部長　伴場　秀樹

17.00～17.50
(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響
……あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター　素材開発室　田中　利幸

協　賛　大阪染色協会，関西ファッション連合

参加費　会員 15,000 円　非会員 23,000 円　学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

定　員　30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申　込　「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より WEB 申込みができます．

申込先　日本繊維機械学会
〒 550-0004　大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

入門講座「2日で学ぶせんいと布づくり」

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として，繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方，新しく繊維業務に携わられる方などを対象に，2日間でせんいと布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました．

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては，繊維と繊維製品の製造，性能，用途について再認識していただく場になればと思います．関係各位，多数の方々のご参加をお待ちしています．

期　日　**2019年6月12日(水)，13日（木）**

会　場　大阪科学技術センタービル（大阪市西区靭本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分）

内　容　予定

1日目【6月12日(水)】

（1）テキスタイル概論（10.00～11.00）
……京都工芸繊維大学　繊維学系　教授　鋤柄佐千子

（2）繊維の材料（天然繊維と化学繊維の種類，構造と性質）（11.10～12.40）
……京都工芸繊維大学　繊維学系　教授　山根　秀樹

（3）糸（繊維原料～紡績工程）（13.40～14.50）
……㈱豊田自動織機　繊維機械事業部　技術部　紡機技術室　紡機技術第1G　尾関　正道

（4）糸加工（フィラメント糸の加工）（15.00～15.20）
……金沢大学　理工研究域機械工学系　教授　喜成　年泰

（5）織物（15.20～16.30）
……金沢大学　理工研究域機械工学系　教授　喜成　年泰

（6）編物（16.40～17.50）
……京都工芸繊維大学　繊維科学センター　シニアフェロー　武内　俊次

2日目【6月13日(木)】

（7）染色加工（9.30～11.00）
……元鐘紡，日本繊維機械学会 染色加工研究委員会　改森　道信

（8）不織布（11.10～12.40）
……日本繊維機械学会フェロー，日本不織布協会顧問　矢井田　修

（9）産業資材（13.40～14.50）
……㈱クラレ　繊維カンパニー　産資用発部　繊維開発・加工グループリーダー　頼光　周平

（10）環境（15.00～16.00）
……繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授　木村　照夫

（11）修了証贈呈式（16.00～16.05）

協　賛　大阪染色協会，関西ファッション連合

定　員　50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費　会員25,000円，協賛学協会員25,000円，非会員33,000円，学生会員5,000円，学生非会員7,000円（税別）

申　込　「テキスタイルカレッジ2日で学ぶせんいと布づくり」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい．学会HPよりWEB申込みができます．

申込先　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靭本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail:info@tmsj.or.jp

第 47 回繊維工学研究討論会
The 47th Textile Research Symposium 2019

第 47 回繊維工学研究討論会（TRS2019）は，チェコ共和国リベレツ市のリベレツ工科大学で，2019 年 6 月 17 日（月）～ 19 日（水）に開催されます．

繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）は，国内外の繊維工学研究者や技術者間の，繊維工学研究討論や情報交流をはかるために 1972 年に始まり，Mt.Fuji Conference の愛称で親しまれ 47 回目を迎えます．今日では，ファイバーサイエンスからアパレルエンジニアリングまで幅広い分野の繊維研究に関する国際会議になっています．参加者は著名な繊維研究者です．世界各地から 60 ～ 100 名が集い，30 ～ 40 の論文（口頭とポスター）が討論されます．皆様の積極的なご参加をお待ちしております．

期　日　**2019 年 6 月 17 日（水）～ 19 日（水）**

会　場　チェコ共和国リベレツ工科大学（Technical University of Liberec）
Univerzitni namesti 1410/1, Liberec 1 - Stare mesto

主　催　リベレツ工科大学繊維機械学科ならびに一般社団法人日本繊維機械学会

協　力　日本繊維機械学会テキスタイル科学研究会

トピックス

Fiber Science and Engineering
Science and Technology of Textile Machinery
Science and Technology of Textile Processing
Dyeing and Finishing
Nano Fibers and Smart Textiles
Composite and Industrial Textiles
Design, Comfort, Quality of Textiles and Sense Evaluation
Apparel Science and Production Technology
Environment and Sustainability
Biomedicals

発表・参加申込

下記ホームページから直接お申込みください（日本繊維機械学会では受け付けません）．
http://trs2019.ft.tul.cz/Home/home.html

参加登録費　Regular participant：200 €（Before 30th April 2019），250 €（After 30th April 2019）
Student：100 €（Before 30th April 2019），150 €（After 30th April 2019）
Accompanying person：50 €（Before 30th April 2019），100 €（After 30th April 2019）

北陸支部

共催行事　平成30年度福井大学大学院 工学研究科附属繊維工業研究センター研究発表会

期　日　**2019年3月8日（金）13.30～16.10**

会　場　福井大学総合研究棟13F大会議室

内　容

［先端技術研究会］（13.30～15.10）

13.30～14.20

「希薄溶液からの結晶化を利用した高性能ナノファイバーの創製と複合体への応用」

……岡山大学　大学院自然科学研究科　准教授　内田哲也

14.20～15.10

「繊維・布帛材料を利用したアクチュエータの開発」

……福井大学　学術研究院工学系部門　助教　浅井華子

［研究発表会（ポスター発表）および名刺交換・交流会］（15.10～16.10）

本発表会では福井県工業技術センターとの研究交流会を併せて行います．以下の発表の他に，センター職員より数件のポスター発表を予定しています．

「ポリエステル布帛の化学的表面処理を目指した安息香酸の光脱炭酸反応の開発」……吉見泰治
「高接着性・高耐熱性・熱可塑性炭素繊維強化プラスチック（CFRTP）の開発」……橋本　保
「高分子ナノファイバーアクチュエータの駆動メカニズム解明」……坂元博昭
「リグニン由来原料を用いた新規ポリエステルおよびポリアミドの合成」……阪口壽一
「絹タンパク質セリシン加水分解物の分子修飾による高機能化」……寺田　聡
「機能性・導電性セルロースナノファイバー布帛膜材の創製と耐放射線性」……庄司英一
「炭素繊維と熱可塑性樹脂の接着性と熱可塑性樹脂の構造の関係」……植松英之
「シリカ／酸化鉄複合ナノ繊維の作製と特性」……中根幸治
「ポリスチレンのフィルム延伸におけるDSCデータのモデル化と一般化アレニウス型関数の適用に関する試行研究」……田中　穣
「セルロースナノファイバーの精密配向・高集積化」……藤田　聡
「ポリマーアロイ糸のミクロ相分離構造の新規可視化法の開発」……入江　聡
「ポリマーブラシ膜と非相溶な高分子膜の接着」……平田豊章
「スマートテキスタイルへの応用を目指したバイオ電池」……末信一朗
「アラミドエアロゲル繊維連続紡糸技術の開発」……廣垣和正
「高分子／無機複合ナノ材料の動的物性」……佐々木隆
「粘弾性流動計算による炭素繊維束への溶融樹脂含浸プロセスの検討」……田上秀一
「ポリビニルエーテル類を立体安定化剤とする重合誘起自己組織化」……杉原伸治
「フィブロイン医療材料創成を目指した、未分解フィブロイン水溶液調製法の確立」……鈴木　悠
「スマートテキスタイル用電源として利用可能なバイオ電池の開発」……里村武範
「水酸基を有する温度応答性高分子水溶液の合成と特性解析」……前田　寧

参加費　無料

共　催　福井大学大学院工学研究科附属繊維工業研究センター，福井大学産学官連携本部協力会
繊維技術研究部会，繊維学会北陸支部，日本繊維機械学会北陸支部

申込締切　2019年2月28日（木）

問合先・申込先　福井大学　学術研究院工学系部門　廣垣和正
E-mail：hirogaki@u-fukui.ac.jp，FAX：0776-27-8747

東海支部　平成30年度尾張繊維技術センター研究成果普及講習会

期　日　**2019年3月20日（水）13.30～16.10**

会　場　あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター3号館4階研修室

内　容

1．基調講演（13.30～14.50）
　ミツフジの歴史と自社を支える技術及び将来の展望について
　……ミツフジ㈱　代表取締役社長　三寺　歩

2．事業紹介（15.10～15.25）
　新あいち創造研究開発補助金の概要

3．研究成果普及講習（15.25～16.10）
　(1) アクチュエーター繊維の製造技術に関する研究
　(2) 無縫製ニット製品の異分野向の製品化に関する研究
　(3) 消毒剤による座席シートの薬品試験と残留性評価

参加費　無料

申　込　「平成30年度尾張繊維技術センター研究成果普及講習会」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号）を記入の上，E-mailにて下記宛お申し込み下さい．

問合せ・申込先　E-mail：owari-kikaku@aichi-inst.jp
　〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35，TEL 0586-45-7871

その他　詳細は下記URLをご参照ください．
　http://www.aichi-inst.jp/owari/other/seminar/

企画委員会

委員長　倉敷　哲生（大阪大学）

副委員長　杉山　研志（TMTマシナリー）　東山　幸央（兵庫県立工業技術センター）

企画委員　青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）　秋月　健司（東レ）　稲富伸一郎（東洋紡）
内丸もと子（M.U.PLANNIG）　小川　敦久（クラレ）　奥野　智朗（住江織物）
梶原　幸治（キョーワ）　勝間田晋治（ボーケン品質評価機構）　黄　楚（カトーテック）
佐久間　淳（京都工芸繊維大学）　佐藤　克成（奈良女子大学）　滋野　治雄（帝人）
竹本由美子（武庫川女子大学）　筒井久美子（村田機械）　中根　幸治（福井大学）
西田　裕紀（関西ファッション連合）　野田　博丈（トヨタ紡織）　馬場武一郎（日本毛織）
林　久秋（豊田自動織機）　廣澤　覚（京都市産業技術研究所）　深沢太香子（京都教育大学）
藤井　智成（津田駒工業）　堀場　洋輔（信州大学）　松原　孝典（産業技術短期大学）
森　洋人（アシックス）　森島　英暢（倉敷紡績）　山田　博夫（ユニチカトレーディング）
山田由佳子（大阪教育大学）

アドバイザリー　宇治　光洋（ダイセン（繊維ニュース））　木村　照夫（元京都工芸繊維大学）　武内　俊次（京都工芸繊維大学）
藤井　明彦（繊維評価技術協議会）　松﨑　健（ミズノ）　松下　義弘（京都工芸繊維大学）

関東支部　繊維系研究機関ミニ国際シンポジウム2019 講演会・見学会のご案内

日本繊維機械学会・繊維学会の運営にご尽力され，繊維生産技術の発展に貢献されてきました鞠谷雄士先生をお迎えし，関係者とともに講演会・見学会を開催する運びとなりましたので，下記の通りご案内申し上げます．なお，本行事へは関東地域にこだわることなく，また，非学会員でもご参加いただけます．

期　日　**2019年4月25日(木)，26日(金)**

会　場　講演会：東京都立産業技術研究センター本部東京イノベーション・ハブ（東京都江東区青海2-4-10）
ゆりかもめテレコムセンター駅下車，徒歩直ぐ，りんかい線東京テレポート駅より徒歩15分．送迎バス利用3分（ただし朝夕のみ）．
見学会：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）

内　容

4月25日(木) 第一部：講演会
13.00～13.40
講演（1）「3Dプリンターでバイオリン，その設計と製作」
…… 東京都立産業技術研究センター 3Dものづくりセクター　横山幸雄
13.40～14.20
講演（2）「花王のシート製品を支える繊維・不織布技術」
…… 花王㈱　包装容器開発研究所　金田　学
14.20～15.10
ポスター発表／コーヒーブレイク
15.10～15.50
講演（3）「Development of High-strength Polyester Fibers via Novel Control of Flow Behavior In Melt Spinning Process」
…… Technical Textile R&D Group, Korea Institute of Industrial Technology（KITECH）HAHM Wan-Gyu
15.50～16.50
講演（4）「高速紡糸による繊維形成とポリマー特性の関係」
…… 東京工業大学　物質理工学院材料系　鞠谷雄士
懇親会（講演会終了後，鞠谷先生を囲んで懇親会を開催します．参加費6,000円（予定））

4月26日(金) 第二部：見学会
見学先：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）
集合場所：博物館・百周年記念館1Fロビー
13.00～14.30　博物館・百周年記念館
14.30～16.00　鞠谷研究室 紡糸設備の見学

定　員　講演会100名，見学会20名（定員になり次第，締め切らせていただきます）

参加費　無料，懇親会有料6,000円（予定）

問合先・参加申込先

可能な限りE-mailでお願いします．
群馬大学 理工学部 環境創生部門　河原　豊
〒376-8515 桐生市天神町1-5-1
TEL：0277-30-1491，FAX：0277-30-1412，kawahara@gunma-u.ac.jp

後援行事 International Symposium of Wearable Systems for the Healthcare Clothing Environment 2019 ～1st Shinshu OPERA International Symposium～

超高齢社会を迎えた日本では，加齢や病気等により失われた身体機能を代替・補助する医療機器の需要が高まっており，医療機器開発の加速が益々重要になっています．

信州大学国際ファイバー工学研究所が主催し，「ヘルスケア衣環境のためのウェアラブルバイタルサイン測定システム」に関する国際シンポジウムを開催いたします．本研究は，信州大学の同プロジェクトに端を発し（2014年），科学研究費補助金基盤研究（A），さらには信州大学を幹事機関とする科学技術振興機構（JST）の産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）にて実施する研究領域「生理学的データ統合システムの構築による生体埋込型・装着型デバイス開発基盤の創出」に連なるものです．

本シンポジウムでは，これまで同プロジェクトに参画・協力頂いている国内外の研究者等をお招きして研究成果報告を行うセッションと基調講演を実施し，装着型デバイス等の研究成果，国内外の研究開発動向について参加者と共有するとともに，現在生じている課題の解決に向けた議論を行います．なお，講演・発表は英語で行います．

主　催　信州大学 先鋭領域融合研究群 国際ファイバー工学研究所

共　催　信州大学，国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）・「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）

後　援　Japan Science and Technology Agency（JST）
IEEE Instrumentation and Measurement Tokyo/Japan Sections Joint Chapter
Smart Textile Research Association, Japan,
Japan Society for the Promotion of Science（JSPS）

期　日　**2019年3月1日(金)　10.00～17.15**

会　場　上田東急REIホテル（〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1）

プログラム

Opening Session　-All that FBG for HealthCare Clothing Environment-　10.00～12.00
Chairs: Dr. Miyahara and Dr. Koyama

1. “Making FBG sensor”　Dr. K. Fujita and Mr. Ogawa
2. “FBG Interrogator for Wearable System”　Mr. K. Ogawa and Mr. Y. Haseda
3. “Pulse rate and Respiratory condition detection”　Dr. S. Koyama and students
4. “Blood Pressure detection by FBG”　Prof. Fujimoto, Mr. S. Chino
5. “Stress Loading Detection Method Using the FBG sensor”　Mr. Fujiwara and Dr. Koyama
6. “Blood Glucose sensing by FBG”　Mr. S. Kurasawa and Dr. Koyama
7. “Fatal Monitoring by FBG”　Ms. K. Katayama and Prof. Kanai
8. “FBG induce Textile for HealthCare Clothing environment”　Prof. A. Sakaguchi
9. “Application to Healthcare robotics”　Mr. Y. Matsuura
10. “The summary –All that FBG for HealthCare clothing”　Dr. S. Koyama

Poster presentation of “All that FBG for HealthCare Clothing”　12.00～13.00

Opening Address　13.00
Dr. K. Hamada, President of Shinshu University
Professor M. Takatera, Director of Institute for Fiber Engineering, Shinshu University
Professor N. Saito, Director of OPERA project, Shinshu University

Plenary Lectures　13.30～16.30

1. “FBG inscription for medical devices.-its bright future based on the international cooperation-”　13.30
   Professor Hwa-Yaw Tam Department of Electrical Engineering,The Hong Kong Polytechnic University
2. “Identification of human body physiological response to bed micro-environment”　14.30
   Professor Arsen K. Melikov, Department of Civil Engineering, Technical University of Denmark
3. “Ultrasonic-measurement-integrated flow analysis for elucidation of FBG vital sign sensing”　15.30
   Professor Toshiyuki Hayase, Institute of Fluid Science, Tohoku University

Closing Session　16.30
Professor. H. Ishizawa（IFES）

定　員　約 200 名

参加費　無料（懇親会は別途会費をご用意ください）

問合先　（お電話でのお問合せはご遠慮ください）
信州大学国際ファイバー工学研究所　スマートテキスタイル研究部門　石澤　広明
〒 386-8567　長野県上田市常田 3-15-1
E-mail：zawa@shinshu-u.ac.jp

懇親会　18.00～20.00
会　場：上田東急 REI ホテル
参加費：5,000 円

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より，日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を，以下の様に変更・新設しました．

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文（Original Paper）：
繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり，信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの．原稿の長さは，原則として刷り上がり 8 頁以内とする．

短報（Short Paper）：
一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり，萌芽的，断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの．原稿の長さは，原則として刷り上がり 4 頁以内とする．

技術報告（Technical Report）：
繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で，信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており．繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの．原稿の長さは，原則として刷り上がり 6 頁以内とする．

レビュー（Review）：
繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向，将来展望を，過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの．原稿の長さは，原則として刷り上がり 8 頁以内とする．

お知らせ　2019年TES 試験の実施計画

繊維製品品質管理士（Textiles Evaluation Specialist ＝ TES）は，昭和 56 年度に通商産業省の告示（平成 9 年 12 月 18 日廃止）に基づいて生まれたもので，消費者に供給される繊維製品の品質・性能の向上を図ったり，繊維製品の品質について消費者からクレームが出ないように，それらの製品の製造や販売を行う企業のなかで活躍するスペシャリストです．その狙いは企業活動の合理化，消費者利益の保護，企業と消費者の信頼関係の改善にあります．

試験日　2019 年 7 月 14 日（日）

日　程　4 月 1 日　要項発表
5 月 1 日～ 5 月 20 日　出願の受付期間
7 月 14 日　試験日
9 月中旬　試験結果通知
11 月 1 日　認定日

試験会場　東 京 試 験 場：文化学園大学
名古屋試験場：中京大学名古屋キャンパス
関 西 試 験 場：京都女子大学
福 井 試 験 場：福井大学 文京キャンパス
倉 敷 試 験 場：倉敷ファッションセンター／倉敷市児島産業振興センター
福 岡 試 験 場：福岡商工会議所

受験資格　学歴・年齢を問わず誰でも受けることができます．

その他　詳細は一般社団法人日本衣料管理協会の HP をご参照下さい．

お知らせ　TES受験講習会のご案内

JTCC では TES 資格の取得を目指される方々を支援する目的で，TES 受験講習会を例年の通り大阪，名古屋，東京，福岡の 4 会場にて開催いたします．

1. 大 阪 会 場

期　日　**2019 年 4 月 6 日～ 6 月 8 日（土曜日 7 回）**

会　場　大阪産業創造館

申込先　日本繊維技術士センター HP または FAX にて申し込み下さい．FAX.06-6484-6575

2. 名古屋会場

期　日　**2019 年 2 月 16 日～ 6 月 15 日（土曜日 6 回）**

会　場　第 1 日目名古屋国際センター，第 2 日目～ 6 日目ウイルあいち（愛知県女性総合センター）

申込先　日本繊維技術士センター東海支部 HP または FAX にて申し込み下さい．FAX.052-204-1469

3. 東 京 会 場

期　日　**2019 年 4 月～ 6 月（土または日曜日 7 回）**

会　場　機械振興会館（予定）

申込先　日本繊維技術士センター関東支部 HP または FAX にて申し込み下さい．FAX.03-5614-0106

4. 福 岡 会 場

期　日　**2019 年 4 月 13 日～ 5 月 25 日（土曜日 2 回）**

会　場　JR 博多シティ会議室

申込先　日本繊維技術士センター HP または FAX にて申し込み下さい．FAX.06-6484-6575

問合先　詳細は日本繊維技術士センター HP をご参照ください．

2019 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました．フェロー制度は欧米では早くから確立されており，フェローとなる会員は，学会を代表するにふさわしい研究者，技術者として認定され，その自覚を持って社会的に活躍されています．

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に，「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し，会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし，併せて，本学会の一層の活性化を図ることを目的として，この制度を設けました．

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上，自薦他薦を問いませんので，2019 年 2 月 28 日（木）までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます．

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し，①候補者氏名，②所属，③肩書，④連絡先，⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上，FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい．

日本繊維機械学会フェロー規程

目　的

第 1 条　繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に，日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え，会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし，併せて，本学会の一層の活性化を図ることを目的とする．

フェロー候補資格

第 2 条　フェローの称号を受ける資格は，原則として次のいずれかに該当するものとする．

(1) 正会員歴 10 年以上で，繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し，現在も活動中の会員．

(2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し，現在も活動中の会員．

(3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し，本学会の発展に顕著な貢献を成し，現在も活動中の会員．

(4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める．

推薦方法

第 3 条　フェローの称号は推薦により授与するものとし，推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする．

(1) 自薦

(2) 本学会の理事ならびに監事，各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条　推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする．

選考方法

第 5 条　フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける．

認　定

第 6 条　フェロー選考委員会の選考結果に基づき，理事会の議決により認定し，日本繊維機械学会フェローの称号を授与する．フェロー認定書は，フェロー認定式において贈呈する．

任　務

第 7 条　フェローの称号を得た会員は，繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として，傑出した研究者・技術者たることを自覚し，本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する．

登録費

第 8 条　フェローの称号を得た会員は，年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする．

称号の喪失

第 9 条　次のいずれか 1 つに称号認定者が該当するとき、その称号を失う．

(1) 本人から申し出があったとき．

(2) 本会の会員資格を失ったとき．

附　則

1．本規程の改廃は理事会の議決による．

2．本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する．

3．本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する．

4．本規定は平成 30 年 11 月 10 日より実施する．

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は，学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする．

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の５名で構成する．選考委員については理事会の承認を得るものとする．

委員長　　１名（理事）
副委員長　１名（理事）
委　員　　３名（委員長指名による会員）

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し，その結果を理事会に報告する．選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが，止むを得ない事情が認められた場合は，書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる．

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない．

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は，本学会活動の活性化のために年会費とは別に，年会費５年分の登録費を登録年度に１回のみ支払う．

附　則

１．本内規の改廃は理事会の決議による．
２．本内規は平成 20 年 3 月 15 日より実施する．
３．本内規は平成 27 年 1 月 24 日より実施する．

染色加工研究委員会

委員長　上甲　恭平（椙山女学園大学）

運営委員　伊藤　博（イトー・ピー・イー・オフィス）　今田　邦彦（今田技術士事務所）　上坂　貴宏（京都市産業技術研究所）
高橋　正志（日阪製作所）　榎本　雅穂（京都女子大学）　岡田　倫子（滋賀県東北部工業技術センター）
奥林　里子（京都工芸繊維大学）　越智　清一（元繊維評価技術協議会）　改森　道信（改森技術士事務所）
金崎　英夫（金崎技術士事務所）　桑原　里実（和洋女子大学）　嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）
解野　誠司（和歌山県工業技術センター）　長澤　則夫（元日本羊毛産業協会）　橋本　嘉顯（東洋紡カンキョーテクノ）
廣垣　和正（福井大学）　松原　孝典（産業技術短期大学）　森本　國宏（森本技術士事務所）
安永　秀計（京都工芸繊維大学）　吉川　雅敏（繊維評価技術協議会）

お知らせ

日本繊維機械学会フェロー会「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では，2008 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました．日本繊維機械学会フェローとは，繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です．2012 年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました．社会貢献を目的として，日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております．

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に，繊維のすばらしさを伝える目的で行っています．繊維のすばらしさを伝える伝道師として，フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して，赤色のブルゾンを身につけ，子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています．

過去の開催内容は学会 HP のフェロー会ページ（http://tmsj.or.jp/fellow/report.html）で閲覧できます．

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として，フェローに成功と失敗談，光と影の部分を腹蔵なく語っていただく講演会です．また，学会行事と連携して基礎講座も行います．

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています．相談事項がございましたら学会 HP のフェロー会ページ（http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html）の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき，相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください．相談内容は関係者以外には秘密保持致します．内容によっては相談に応じられない場合が有ります．なお，内容によっては費用が発生する場合があります．

4. 出前講義

小，中，高等学校から一般の方々，企業を対象に繊維に関する出前講義を行います．出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください．

問合せ先　日本繊維機械学会フェロー会
〒 550-0004 大阪府大阪市西区靭本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階
TEL 06-6443-4691，FAX 06-6443-4694
E-mail：info@tmsj.or.jp

（一社）日本繊維機械学会　会費減免規程

（目　的）

第１条　この規程は，一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第２条第２項に基づき，一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために，正会員の会費年額の減免措置について定める．

（定　義）

第２条　この規程における「従業員」の定義は，下記に定めるところによる．

「従業員」とは，正規，非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び，業務に従事する者をいう．

（年会費の減免）

第３条　本会の正会員の会費年額が 8,000 円であることは，会費規程第２条に明記されているが，以下のいずれかに該当する者については，本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる．

1　ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき，あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は，会費年額を 2,000 円とすることができる．
但し，この減免措置を受けることのできる正会員数は，賛助会員１口につき 10 名，維持会員１口につき 30 名を上限とする．

2　シルバー割引：本会の正会員，あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満 65 歳を越え且つ下記の在籍年数が５年以上ある場合には，会費年額を 2,000 円とすることができる．
①本会の正会員としての在籍年数
②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
③上記①，②を合算した在籍年数

3　ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは，１年間の会費年額を 4,000 円とすることができる．
但し，年度の途中において入会した場合は，会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する．

（最低額の会費年額の適用）

第４条　本会の正会員が前条の２つ以上の事項に該当した場合は，その内最も低額の会費年額が適用される．

（減免の時期）

第５条　年度途中に第２条の減免理由が発生した場合においても，会費規程第３条の「前納」の原則は優先されるものとする．また，すでに納入された会費は返還しない．

（改　廃）

第６条　この規程は，理事会の決議によって変更することができる．

（附　則）

この規定は平成 29 年 11 月 11 日より施行する．

情報化委員会

委員長　武内　俊次（京都工芸繊維大学）
委　員　中西　康雅（三重大学）　保田　和則（愛媛大学）　山下　義裕（大阪成蹊短期大学）
横山　敦士（京都工芸繊維大学）　若子　倫菜（金沢大学）

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満65歳以上の正会員で下記の在籍年数が5年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合 （年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾　長　松田　正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）
副塾長　近藤　健一（㈱おふぃすけんいち代表取締役社長）　松尾　憲久（マツオインターナショナル㈱ 代表取締役社長）
八代　芳明（東海染工㈱ 取締役会長）　山下　雅生（㈱エイガールズ 取締役会長）
幹　事　松下　義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）
運営委員　糸井　弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）　宇治　光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
臼谷旗世彦（大津毛織㈱ 代表取締役）　貝原　良治（カイハラ㈱ 代表取締役会長）
北丸　豊（豊栄繊維㈱ 代表取締役社長）　桑名　紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
髙澤　史納（髙澤織物㈱ テキスタイルデザイナー）　髙杉　哲朗（㈱ショーワ 代表取締役社長）
辰巳　雅美（辰巳織布㈱ 代表取締役社長）　山本　敏明（西染工㈱ 代表取締役）
米倉　勝久（㈱タカラ 代表取締役会長）　渡邊　利雄（渡辺パイル織物㈱ 代表取締役社長）

一般社団法人日本繊維機械学会　正会員　会費減免申請書

		申請日	年　月　日
（フリガナ） 会員氏名		生年月日	年　月　日
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
役職および 所属部課名			
電話			
E-mail			
自宅住所	〒		
連絡事項			
減免種別 （○印でかこむ）	ゴールド割引　・　シルバー割引　・　ブロンズ割引		
承認期日 （事務局記入）	年　　月　　日　　印		